

## P-A-2

### がん統合医療における薬用植物タベブイア・アベラネダエ（俗名タヒボ）から抽出された「NQ801」の臨床的検討

Clinical Examination of 「NQ801」 Extracted from TAHEEBO  
in Integrative Medicine for Cancer.

○ 平田 章二

平田口腔顎顔面外科 腫瘍内科 がんヴィレッジ札幌,

Clinical research of NQ801 extracted from Taheebo was tested for anti-tumor effects, dose dependence and safety of cancer patients. 4 advanced cancer patients were given daily NQ801 by oral ingestion during 3 months, and afterwards 3 times dose NQ801 were taken during more 3 months. As a result, NQ801 made to reduce the tumor in 3 patients in 4. In addition dose dependence effect of NQ801 was seen. And also no negative side effects were seen in this clinical examination. The “NQ801” is suggested from above that it is the anti-tumor effects, dose dependence and safety of cancer patients.

#### 【目的】

南米薬用植物である天然木タベブイア・アベラネダエ（俗名タヒボ）から抽出された「NQ801」は、抗がん作用として、がん細胞に対する①直接作用②間接作用そして③補助作用が研究・報告されている。そこで「NQ801」のがん患者に対する抗腫瘍効果とその Dose dependence 性、さらに安全性について臨床的に検討した。

#### 【方法】

進行がん患者 4 例に、「NQ801」強化エキス末 2g/day を 3 ヶ月間、その後 3 倍量（6g/day）を 3 ヶ月間飲用してもらった。

#### 【結果】

4 例中 3 例において「NQ801」の摂取量を 3 倍にすることにより、より抗腫瘍効果がみられた。しかし副作用は見られなかった。また抗がん剤を使用していた 3 例は、副作用を軽減しながら長期間抗がん剤治療が可能であった。（腫瘍との共存）。

#### 【結論】

今回の臨床研究により、がん統合医療において NQ801 の抗腫瘍効果が確認され、さらに Dose dependence 性があることが示唆された。また臨床的に NQ801（6 g/day）の安全性も確認された。

このことは、NQ801 が今後、統合医療におけるがん治療の中で、3 大治療との併用で、どのような症例に、どれくらいの用量が必要なのか、さらに症例を重ね、研究する必要がある。